

古墳時代の史跡を歩く

☎ 文化財保護課 ☎027-280-6511



前二子古墳の頂上



中二子古墳中堤の埴輪列



前二子古墳石室に復元した副葬品



前二子古墳でのガイド

国の史跡に指定 大室古墳群

西大室町2510
(日本キャンプパーク大室公園内)

赤城山南麓の中央にあり、多くの遺跡が残されている城南地区。日本キャンプパーク大室公園内の大室古墳群には、6世紀初頭から後半に造られた前二子・中二子・後二子・小二子古墳があり、国の史跡に指定されています。そのうち、前二子・後二子古墳では、石室を公開。前二子古墳の石室は明治11年に開口し、石室からはさまざまな副葬品が発見されました。5,000人を超える見学者が全国から訪れ、英国公使館書記官のアーネスト・サトウも調査に訪れました。石室は、9時から16時まで見学が可能です。

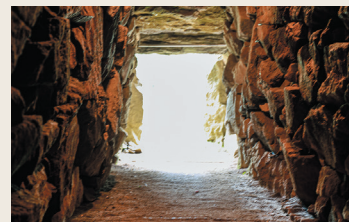
大室古墳群は今年、J・R東日本・大人の休日倶楽部のテレビCMで放映され、再び注目を集めています。



CMは
こちらから

●前二子古墳

狭くて長い石室が特徴。石室からは装身具や鏡、馬の飾り金具などの副葬品のほか、小像付筒形器台が出土しました。この小像は朝鮮半島南部のものと共通しています。



石室入り口

●中二子古墳

大室古墳群最大の前方後円墳。古墳を外敵から警護するための盾持人埴輪と円筒埴輪が密接して並べられています。CM撮影では、石室は前二子古墳、埴輪の並び道は中二子古墳が使用されました。



埴輪列

●後二子古墳

巧みな石室造りが魅力の古墳。石室の前には、儀式に使われた煮炊きの跡や土器がまとまって出土した様子が復元されています。

●小二子古墳

多くの埴輪が出土した前方後円墳。全長38mと小規模ながらも、2段築成になっています。後二子古墳と同時期に方向をそろえて作られていることから、後二子古墳と関わり深い人物の墳墓であると考えられます。

出土品の数々



前二子古墳の小像付筒形器台(左)と副葬品(中央)、中二子古墳の人面付円筒埴輪(右)

出土品や複製品を見学

公園内にあるはにわ館では、大室古墳群の出土品や市民ボランティア作成の埴輪・冠などの複製品、3D画像「大室古墳群の古墳と埴輪」の映写などが見られます。



大室古墳群を案内する、古墳の語り部。ボランティア11人が活動をしています。

大室古墳群は公園内にあるため、整備がされていて見学しやすい古墳です。前二子古墳の長い石室は、約14m。石室の通路には発見されたとおりに出土品が並べられています。出土品は朝鮮半島との関係がうかがわせるものが多くあります。



古墳の語り部の皆さん

※現在、ボランティアガイドは休止しています。

●古墳を見学するときは

- ・マスクを着用する
- ・石室内にはひとりずつ入るなど、他の見学者との距離を確保する
- ・咳や発熱などの症状がある場合は見学を控える

古墳時代、東国の有力地域として栄えた群馬県には、1万3,000基の古墳がありました。そのうち本市には約1,600基があったことが確認されています。県内で最初の本格的古墳とされる前方後方墳の前橋八幡山古墳や前方後円墳の前橋天神山古墳、テレビCMで放映された赤城山南麓の大室古墳群、石室のつくりが見事な宝塔山古墳・蛇穴山古墳など、東国を代表する古墳が築かれ、市内各所に今も数多くの古墳がその姿を残しています。

墳丘に登ったり石室に入ったりすれば、古墳時代を感じられます。